

2025万博の誘致活動について



- BIE総会におけるプレゼンテーションほか
- 今後の取組み方針
 - 海外プロモーション
 - 国内機運醸成
- 国内機運醸成の到達点
- 誘致活動の取組み事例
 - (1) 関西広域連合構成府県市
 - (2) 誘致委員会
 - (3) 経済界

平成30年7月1日

2025日本万国博覧会誘致委員会事務局

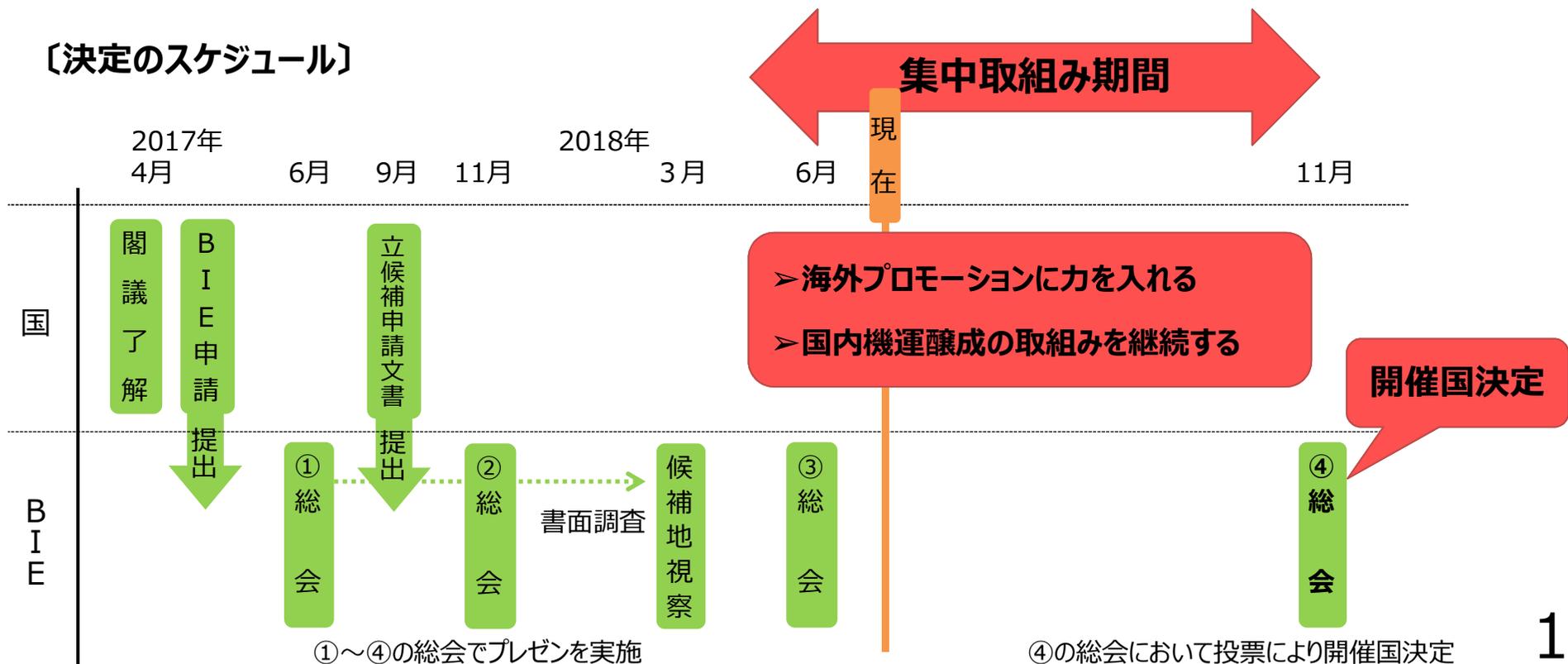
<http://www.expo2025-osaka-japan.jp/recruit-ind>



(会員募集中)

- 2025万博の開催国決定まで4ヶ月あまり
- B I E 調査団の評価は、日本、ロシア、アゼルバイジャンとも総じて良好で、“横一線”
- 今後の取組みが誘致の成否を分ける。B I E 加盟国の過半数の支持を獲得するため、大阪・関西の総力を挙げて、あらゆる取組みを展開
 - 海外プロモーションに力を入れる
 - 国内機運醸成の取組みを継続する

〔決定のスケジュール〕



BIE総会におけるプレゼンテーション（H30.6.13）

【プレゼンテーションの概要】

- 豊富な万博開催経験に裏打ちされた日本だからこそ開催できる、「Human Lives（いのち）」に焦点を当てた新しい万博であることをアピールした。
- 途上国支援プログラムをはじめ、参加国をきめ細かくサポートすること、SDGsの達成に向け、経済界を挙げて既に「Co-Creation」の取組みを進めていることなどを、万博誘致キャラ特使であるポケモンによる万博会場の案内映像を織り交ぜながら、日本の計画する万博の魅力を説明した。

＜プレゼンテーションの主な構成＞

- 京都大学医学部学生・川竹絢子氏によるオープニングスピーチ
- 京都大学iPS細胞研究所・山中伸弥教授のスピーチ
- コンセプト映像（一部パートに安倍総理が出演）
- 世耕弘成経済産業大臣によるスピーチ
- 2025日本万国博覧会誘致委員会・榊原定征会長のスピーチ
- サントリーホールディングス(株)・福本ともみ執行役員のスピーチ
- 大阪芸術大学・川井郁子教授のバイオリン演奏



日本主催の公式レセプション（H30.6.12）

【公式レセプション】

- 駐仏大使公邸において公式レセプションを開催
- 加盟各国のB I E政府代表等の要人に対し、個別に、日本が目指す万博の姿や大阪・関西の魅力をアピール

【日本側出席者】

世耕弘成 経済産業大臣

岡本三成 外務大臣政務官

竹本直一 2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟事務局長

木寺昌人 駐仏日本国大使

榑原定征 2025日本万国博覧会誘致委員会会長

松井一郎 2025日本万国博覧会誘致委員会会長代行（大阪府知事）

松本正義 2025日本万国博覧会誘致委員会会長代行（関西経済連合会会長）

吉村洋文 2025日本万国博覧会誘致委員会副会長（大阪市長）

尾崎裕 2025日本万国博覧会誘致委員会副会長（大阪商工会議所会頭）

池田博之 2025日本万国博覧会誘致委員会副会長（関西経済同友会代表幹事）

山中伸弥 京都大学iPS細胞研究所所長、2025年国際博覧会誘致特使 など



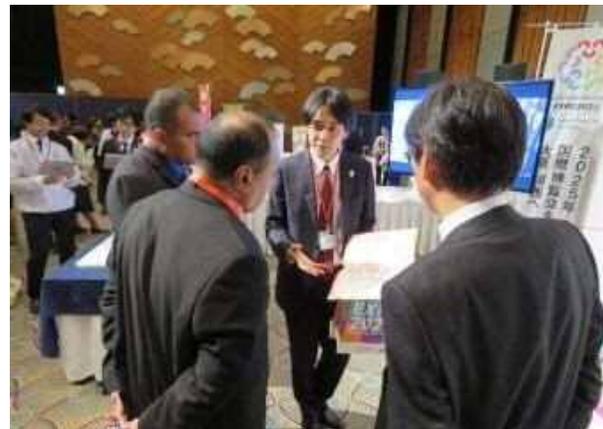
今後の取組み方針

〔海外プロモーション〕

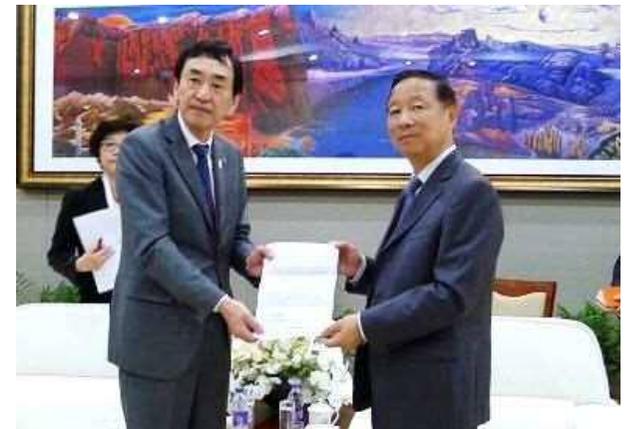
構成府県市による友好都市等への親書送付、関西広域連合や関西観光本部による海外プロモーション等、あらゆる機会を利用し、BIE加盟国等に対して日本支持をはたらきかける



日・アフリカ官民経済フォーラム
(2018年5月)



太平洋・島サミットにおけるP R
(2018年5月)



首長親書を手交
(2018年5月)
(大阪府知事親書を上海市政府へ)

今後の取組み方針

〔国内機運醸成〕

BIE加盟国の過半数の支持が得られるよう、国内機運醸成の取組みを継続。また、加盟国キーパーソンが関西を来訪された際の効果的な受入れプログラムの実施。

〔具体的数値の上積み〕

- 1 賛同者（会員＋署名等）拡大へのご協力
- 2 議会における誘致決議または賛同の表明

〔誘致活動への一層の理解促進〕

- 1 ポスター、チラシ等のPRツールの活用
- 2 広報紙やイベント挨拶での情報発信



【H30.6.7 超党派国会議員による街宣活動】

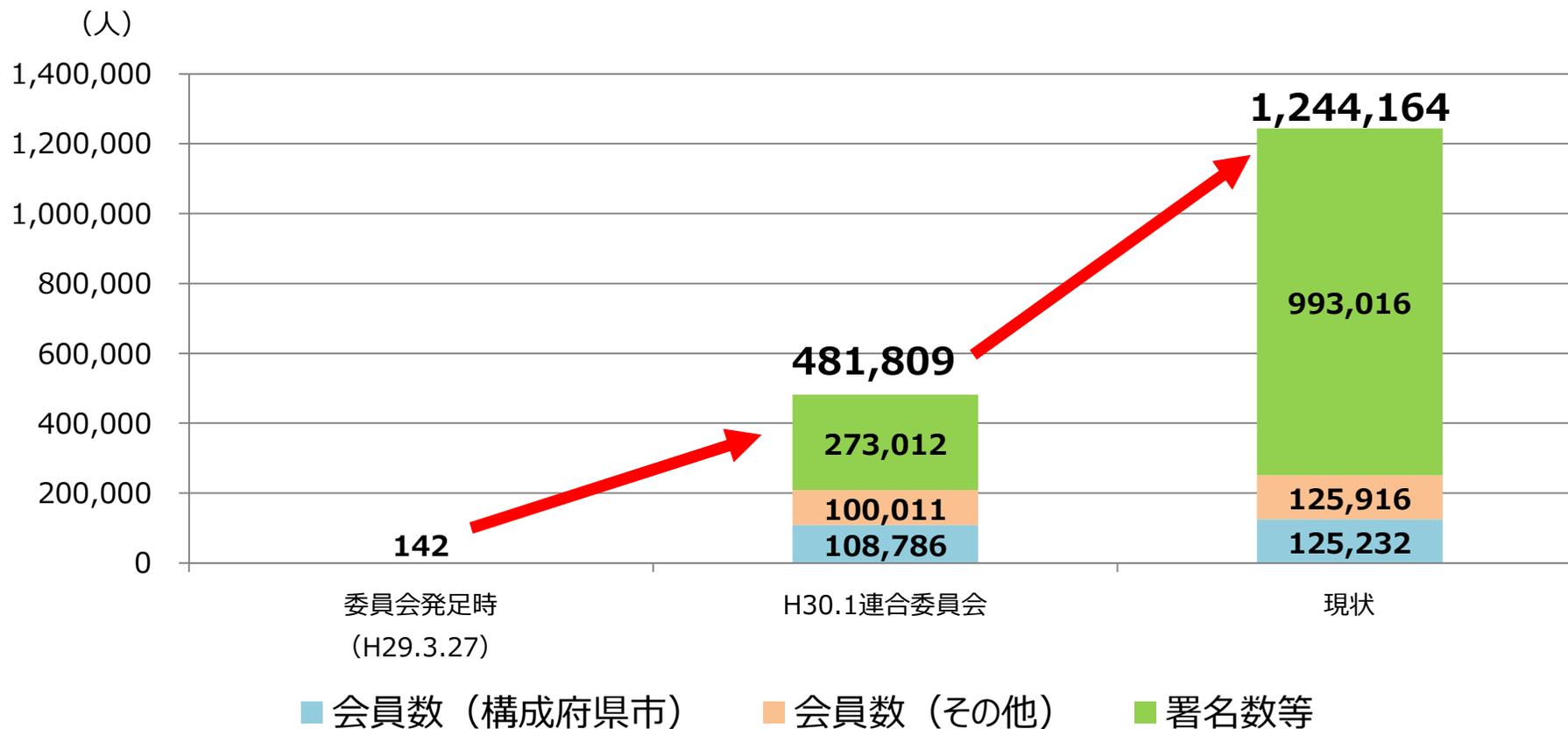


【デジタルサイネージ（動画）】

※BIE総会でのプレゼン動画も提供可能

国内機運醸成の到達点

賛同者数（誘致委員会会員数＋署名数）の推移



全体では**120万人以上**の賛同を獲得している
引き続き、賛同者の拡大にご協力を

国内機運醸成の到達点

〔都道府県議会・市町村議会・各団体における決議等（H30.6.28）140団体〕

大阪府内

大阪府、
大阪市、堺市ほか全41市町村団体（請願採択・決意表明含）

他都道府県・ 市町村等議会

滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、
徳島県ほか全国37都道府県、関西広域連合議会
(京都府) 京都市、宇治市、亀岡市、長岡京市、八幡市、木津川市
(兵庫県) 神戸市、姫路市、篠山市、丹波市、明石市、洲本市、
猪名川町、多可町、市川町、福崎町、神河町、
上郡町、香美町、新温泉町
(和歌山県) 和歌山市、橋本市、海南市、有田市、岩出市、
紀美野町、串本町、みなべ町、印南町、広川町
(鳥取県) 鳥取市

行政団体等

関西広域連合、全国知事会、全国市長会、全国町村会、
指定都市市長会、近畿ブロック知事会、近畿市長会、近畿府県町村会、
大阪府市長会、徳島県市長会
大阪府町村長会、兵庫県町村会、徳島県町村会、鳥取県町村会
全国都道府県議会議長会、全国町村議会議長会、
全国市議会議長会指定都市協議会、近畿府県町村議会議長会、
大阪府町村議長会、徳島県町村議会議長会

※下線は、新たに決議等を頂いた団体

■誘致委員会のHP（日・英・仏で作成）

賛同者数、協賛企業数（オフィシャルパートナー、オフィシャルサポーター）、万博誘致の決議数を情報発信

2025年国際博覧会を日本、関西・大阪へ

賛同者数
124 万人以上！

支援企業・団体
260 社以上！

**45 の都道府県議会を
含む議会と行政団体等の
決議数：140**

2025年国際博覧会の開催地に立候補している日本では、政府に加え、経済界・自治体・議会などの関係者が一丸となった「オールジャパン」体制で、誘致実現に向けた活動を進めています。

市民や市民団体を含めて124万人以上が万博誘致に賛同し、グローバルに活動する企業から関西・大阪での地元企業まで260社以上の多くの企業・団体がオフィシャルパートナー・オフィシャルサポーターとして誘致活動を支えています。

また決議におきましても、全国47都道府県のうち、45都道府県で採択される拡がりを見せています。

テーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」。

2025年国際博覧会の誘致実現に向けて、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

誘致活動の取組み事例

(1) 関西広域連合構成府県市

① 庁内体制の整備



大阪府万博誘致推進本部（平成29年4月設置）
「いのち輝く未来社会」をめざすビジョン」を29年度策定

② B I E 加盟国への働きかけ

友好都市等との交流



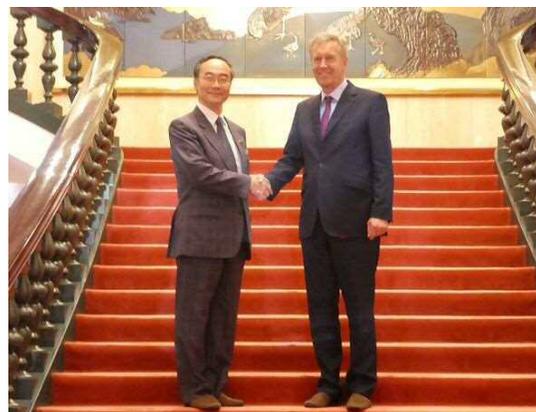
国際交流事業の活用



友好都市等との交流



友好都市等との交流



首長親書の手交



③ イベントを活用したプロモーション

イベントでのP R
(署名活動)



イベントでのP R
(ポスター、チラシ)



イベントでのP R
(のぼり)



マラソン大会でのP R
(のぼり)



マラソン大会でのP R
(ブース出展・署名活動)



イベントでのP R
(署名活動)



④ 庁舎等でのPRツールの活用

庁舎でのポスター掲示



庁舎でのデジタルサイネージ



④ 庁舎等でのPRツールの活用（2）

横断幕の掲示



のぼりの掲出



のぼりの掲出



受付への三角柱配置



⑤ 広報媒体の活用

一般向け通知用封筒でのPR



メールニュース



広報紙の記事掲載



広報紙の記事掲載



広報紙の記事掲載



⑥ 公共交通機関でのPR

車両を活用したPR



駅でのPR (デジタルサイネージ)



駅でのPR (ポスター)



駅でのPR (ポスター)



(2) 2025日本万国博覧会誘致委員会

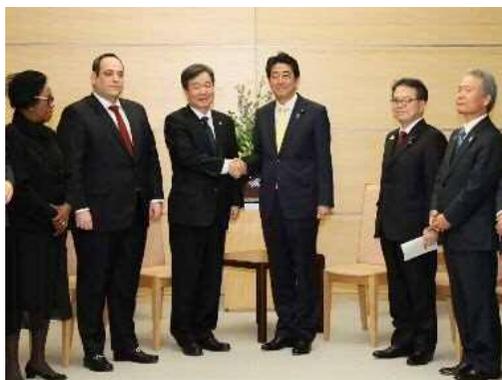
BIE総会でのプレゼンテーション (2017.6)
(榊原誘致委員会会長)



BIE総会でのプレゼンテーション (2017.11)
(吉村誘致委員会副会長)



来日されたBIE調査団への対応 (2018.3)



街頭バナーでのPR



スペシャルサポーターによるPR



イベントでの署名活動 (大阪マラソン)



万博の意義・理念のPR (未来社会デザイン会議)



自主的な応援活動との連携 (高校生によるオリジナル応援ソング演奏)



(3) 経済界

自社商品への誘致ロゴ掲載



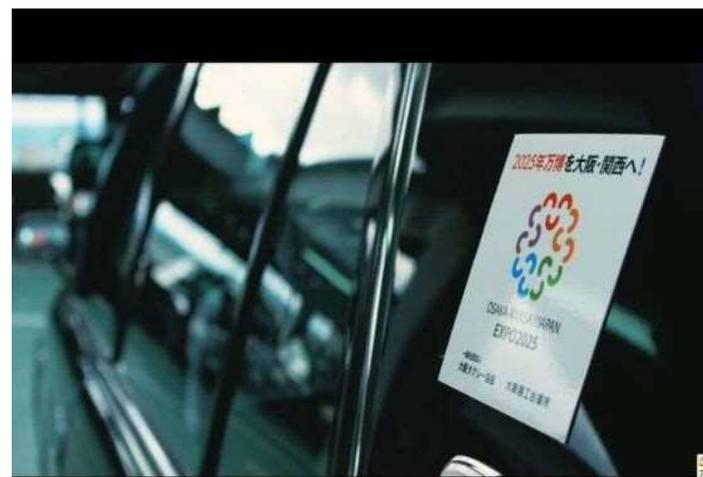
万博ロゴラッピングトラック



自社TVコマーシャル枠を活用したPR



タクシーへのロゴステッカー貼付



新幹線車両デッキへのステッカー貼り付け



万博ロゴラッピング航空機の就航



主要ターミナル駅でのデジタルサイネージ



万博ロゴラッピング車両の運行

